

令和7年度(2025年度) 学校運営協議会情報連絡会主催 自主研修会

－研修概要－

【日 時】 令和7年(2025年)8月24日(日) 9:30～11:30

【場 所】 八王子市立いずみの森義務教育学校
3階 交流ホール

【内 容】 (1)講義
「家庭支援について」
～支援を必要とする家庭の現状を知る～

(2)意見交換会

講義の様子

今回の研修会のテーマは、「家庭支援について」です。日ごろから子どもたちや家庭と向き合い支援を行っている子ども家庭センターの職員を講師として招き、支援を必要とする家庭の現状を学びました。研修会には多くの委員が参加し、関心が高い様子が伺えました。



講義では、子ども家庭センターの役割や、児童虐待が子どもに与える影響について説明していただきました。さらに、実際の事例を通して虐待への理解を深めるとともに、学校運営協議会が家庭に対してどのような支援が可能かについて教えていただきました。

意見交換会の様子

後半の意見交換会では、事前に質問票を配布し、参加者に講義を受けての感想や質問を記入してもらいました。子ども家庭センターの管轄地域ごとにグループ分けを行い、それぞれの地域を担当する職員が、寄せられた質問や疑問に対して回答・説明を行う形式で実施しました。

【大横地域の様子】



【東浅川地域の様子】



【南大沢地域の様子】



参加者の主な感想

《印象に残った内容》

- 子どもは学校と家庭しか知らないから、親からの虐待もどこの家庭でもあると思っている可能性もある。問題が起きた時、いろんな人と、つながることが大事。1人しかつながってないと何かあって離れた時そのままになってしまう。
- 学校運営協議会の委員が、虐待について直接通報・通告するのは、なかなか難しいことですが、情報のアンテナを張ることと、違和感を感じたら、学校と情報の共有をする重要性を感じました。
- 「子どもの立場に立った視点で考えることが重要」という考え方が大事。今回の議題は常に気になっている事でしたのでとても勉強になりました。
- 虐待かどうかの判断の難しさ。
- 児童虐待がいかに表に出にくいかということと、その被害の深刻さ。

《全体を通して》

- 後半の質疑応答で、センターの方の話（回答）を聞き、個々の事案への対応がどれだけ難しいことか知りました。お子さん、保護者それぞれに受け入れてもらえるよう丁寧に対応されている様子が伝わってきました。
- 参加された方は皆さん熱心で、こういう皆さんに学校や地域は支えられているのだと改めて認識した。
- 子ども家庭センターの職員の方と意見交換できたのが良かったと思います。